

第 114 回エイズ動向委員会【平成 20 年第 2 四半期】
委員長コメント

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 20 年 3 月 31 日～平成 20 年 6 月 29 日までの約 3 か月
2. 新規 HIV 感染者報告数は 276 件（前回報告 251 件、前年同時期 270 件）で、過去 2 位。うち男性 256 件、女性 20 件で、前回および前年同時期より男女とも増加
3. 新規 AIDS 患者報告数は 109 件（前回報告 94 件、前年同時期 110 件）で、過去 4 位。うち男性 103 件、女性 6 件で、前回より男性は増加、女性は減少

【HIV 感染者及び AIDS 患者の動向】

1. 新規 HIV 感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 185 件（全 HIV 感染者報告数の約 67%）と最多
そのうち 173 件が日本国籍男性
 - 異性間性的接触によるものが 53 件（全 HIV 感染者報告数の約 19%）
そのうち男性 41 件、女性 12 件
 - 年齢別では、特に 20～30 代が多いが、50 代以上でも前回及び前年同時期より増加した。
2. 新規 AIDS 患者：
 - 同性間性的接触によるものが 53 件（全 AIDS 患者報告数の約 49%）
 - 異性間性的接触によるものが 33 件（全 AIDS 患者報告数の約 30%）
そのうち男性 29 件、女性 4 件
 - 年齢別では、特に 30 代に多く、前回および前年同時期より増加した。

【検査・相談件数の概況（平成 20 年 4 月～6 月）】

1. 保健所における HIV 抗体検査件数は 35,430 件、自治体が実施する保健所以外の検査件数は 6,776 件、保健所等における相談件数は 53,156 件
前年同時期に比べ、抗体検査数・相談件数ともに増加
2. HIV 検査普及週間及び世界エイズデー以外の時期にも高い水準で推移し、検査件数は年々増加傾向

【献血の概況（平成 20 年 1 月から 6 月）】

1. 献血件数（速報値）は 2,504,367 件（昨年同時期速報値 2,456,788 件）
2. そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数は 58 件（昨年同時期速報値 40 件）
10 万件当たりの陽性件数は 2.316 件（昨年同時期速報値 1.628 件）前年より増加

【まとめ】

1. 各自治体においては保健所等を中心に、さらに利用者の利便性（夜間・休日・迅速検査）に配慮した検査・相談事業を推進し、予防に関する普及啓発に努めることが重要であり、HIV 感染の早期発見による適切な治療の促進と感染拡大の抑制に努める必要がある。
2. 国民は HIV・AIDS についての理解を深め、身近な問題として積極的に予防に努めるべきである。早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV 抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。